

地区ロータリー財団セミナー報告

地区ロータリー財団委員会

委員長 佐藤 俊一

(大阪鶴見RC)

去る8月25日大阪YMCAにて各クラブ会長、幹事、財団委員長を対象として当地区主催のロータリー財団セミナーが開催された。

森茂寛地区代表幹事の司会進行のもと、最初に新谷秀一Gより財団への協力と参加者への謝辞があった後、宮田宏章ロータリー財団部門顧問より財団の概要説明があった。

地区ロータリー財団委員会委員長より今年度の財団委員会の強調事項として、1.「財団情報の共有化」2.「財団学友の活性化」をあげた。近年充実しつつある2660地区のホームページを紹介し、財団に関する情報はすべてこのホームページで紹介され、誰でもがその資料を閲覧し、入手できる事の説明があった。またクラブ財団委員長の役割についても述べ、CLP導入に際しての財団委員会の重要性についても言及があった。

財団情報・増進委員会北村讓委員長より、ロータリー財団の歴史、組織、財団のプログラム、財団への寄付の種類、当地区年次寄付の実績について資料をもとに説明があった。

財団人道的補助金委員会横井憲二委員長よ

り、人道的補助金についての詳細かつ具体的内容の紹介があった。ついでポリオの撲滅に関する現状および世界的活動における国際ロータリーの役割についての話があった。

ロータリー財団奨学金・学友委員会簡仁一委員長より2名の帰国国際親善奨学生の紹介があり、一人はガーナに留学した澤恵子さん、そしてインドに留学した豊山亜希さんより現地で経験した興味深い報告があり、出席者に感銘をあたえた。

財団研究グループ交換委員会(GSE)の田中潤治委員長よりトルコアンカラ地区訪問の帰朝報告があり、つづいて4人のチームメンバー(櫛原佳代子、牧香代子、小林隆一、生田英輔)よりそれぞれ興味深い報告があった。

終わりに新谷秀一G、横山守雄GEより講評があって閉会した。

以上、多くの財団学友から普段体験できない話を聞くことができ、予定時間をオーバーしてしまっていたが有意義なセミナーでありました。

